

令和7年9月1日

中標津町議会議長 後 藤 一 男 様

中標津町議会議員 松 村 康 弘

研 修 報 告 書

以下の研修について、次のとおり報告します。

- 1 研修名 議会広報研修会
- 2 研修先 北海道町村議会議長会
- 3 研修日 令和7年8月19日（火）
- 4 研修事項 講演 「議会の『見える化』&住民との『信頼築く』
議会広報の基本と編集」
議会広報クリニック（増毛町議会・苫前町議会・天塩町議会）
参考資料（仁木町議会・鷹栖町議会）

5 成果

昨今の地方議会における無風選挙は議会の信頼性が問われる状況となっており、その対応策の一つとして広報紙は有効な手段で、メディア的性格を持つことを自覚したうえで、読まれる広報紙を目指さなければならないと言われました。

その内容は決まったことの、後からの周知情報としての広報情報と、政策情報としての政策決定前の情報やプロセスを公開して、考える市民へ誘導しなくてはならないと説かれました。

そして、住民参加を促す議会広報を提供し、情報なくして参加なしという意識を徹底しなければならない、として4つに方向性を示されました。

1. 住民読者を念頭に住民目線の企画編集
2. カタイ難しいから読みたくなるような情報紙へ
3. 住民参加・共同の公聴企画で『自分ごと化』へ
4. 他の広報媒体と連携・補完・分担など駆使へ

と提起され、編集実務の前に、編集方針の確定があって、製作工程がありそして企画が立案後初めて編集実務があると教えられました。

他に定例会の翌月第1木曜日の発行をめざすべきとも提言されましたが、これはなかなか専従でなければ難しいと感じました。